

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	(株)ふるさとの森	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。				
提案プロジェクト名	地球変動対応型環境未来都市構想	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。				
対象地域	都道府県名	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。				
	市町村名	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。				
① 関連する分野	環境（低炭素、循環、生態系サービス） 超高齢化（健康、安心安全、エイジフリー） その他（ナレッジエコミー、高度情報集積、雇用所得安定、地域活性化）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。				
② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標(2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>平成23年3月11日午後2時46分、日本において世界的にも未曾有の大災害をもたらす地球の地殻変動が起きました。この大震災の後に、目標とするべき将来の都市・地域像を描くとすれば、それは、当然この激甚災害というにはあまりにも言葉に尽くせない巨大な災害から、ほんとうに大切なものは何なのか、本来守るべきものは、いったいどんな価値を守ればいいのか、そこからどんな目標を掲げればいいのかという問いかけをせざるを得ません。それはすなわち、地球上の、日本というつぼけな島国で、あたかも川面に浮かぶ笹舟のように、所在なく不安定で、いつ襲ってくるかもしれない巨大な大波におびえながら暮らしているという事実にも紛れもなく気づかされ、できる限りの安心と安全を如何に確保しながら、その小舟に乗った多くの市民の生命や財産を、そして産業や伝統を守り、その上で、安全で安心な生活を確保しつつ、環境価値、社会的価値、経済的価値を創造し、未来を創造するかという巨大な目標を掲げざるを得ないと、提案者は感じております。従って、まず、第一の目標は、如何にして如何にして安心安全な生活環境を整えるか。人が誰もその地を故郷として、かなうならばずっと住み続けたいと思うのですが、それには、できるだけその地が安全でなければなりませんし、それにはそれなりの知恵と技術を注ぎ込むことは必要です。もちろん、完全に完璧な安全と安心を得ることはできませんが、それには、可能な限りそれに近づける努力をし、そのことについて住民のコンセンサスが必要であると考えます。そのためには、そのいわば安心安全のためのインフラ整備を地元の産業として興し、地元のみんがそれを構築する必要があると考えます。そうして作り上げた地域というホームグラウンドの中でこそ、低炭素、循環、生態系サービス等の環境価値、超高齢化対応を含めた健康、介護、安心安全、エイジフリーなどの社会的価値、並びに、高度情報集積、安定的な雇用・所得、生涯現役等の経済的価値の創造をすることができると考えます。本提案では、この3つの価値のうち特に、環境価値では低炭素と循環、社会的価値では、安心安全、経済的価値では高度情報集積及び安定的な雇用所得並びに生涯現役を創造すべき主な価値として提案いたしますこととします。</p>						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>まず、第一に、ホームグラウンドとなる基盤の整備、第二に、それぞれの価値の実現に向けた具体的な取り組みについて提案いたします。個別の詳細につきましては、別紙「詳細資料1」をご覧頂けますようお願い申し上げます。</p>						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	都市基盤整備事業	防波溝、水路などインフラ整備、データベースハブ及び拠点整備、モニタリングシステム構築、物流拠点整備、公共施設の耐震工事など		(株)ふるさとの森	環境、超高齢化、その他	○
(2)	土壌、水質等のモニタリング事業	土壌、地下水、海水等の農地、生活環境、漁業環境等についての数値データの蓄積分析事業		(株)ふるさとの森	環境、超高齢化、その他	○
(3)	地元一次産業検討事業	前記分析にもとづき、多収量性作物を含めた栽培する農作物の品種についての検討、農作物漁獲物等に関しての加工方法の検討など地元農地並びに漁場を利用した一次産業の方針を検討する事業		(株)ふるさとの森	環境、超高齢化、その他	○
(4)	再生可能型エネルギー発電事業	太陽光、水力、風力等を利用した地域にあった発電方法の検討と事業の立案実施		(株)ふるさとの森	環境、超高齢化、その他	○
(5)	多収量性作物を利用したエネルギー循環型システムの検討立案実施	多収量性作物を利用したエタールと飼料の製造を基軸として、飼料とエネルギーの自給を地元の地域完結型で実施する循環システムの検討構築実施事業		(株)ふるさとの森	環境、超高齢化、その他	○
(6)						
(7)						
(8)						
(9)						
(10)						
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>基本的には、「想定外」という事象をできるだけ減らすという「イノベーション」を実現したいと考えています。あわせて、ほんとうに安心して住める都市にすることです。そのためには、食料を含めたエネルギーのある程度の自給が必要であり、本提案に記載しております項目のいずれもがそれぞれその目的に向かって統合的に機能すると考えています。</p>						